



■ 第16回都草通常総会を開催



5月30日(月)、京都観光文化を考える会・都草の第16回通常総会が、左京区の京都学・歴彩館大ホールで開かれ、3年ぶりに会員の皆様に出席していただきました。

総会に先立ち、第1部の特別講演で、京都市歴史資料館長、京都産業大学名誉教授で都草顧問の井上満郎先生に「京都を考えるとということ」と題した講演をしていただきました。講演では、京都の特徴である多様性のあるまちを受け継いでいくために、将来を見据えて今を生きることが大切ではないか、とお話しされました。

第2部では、新たに都草顧問に就任された山田啓二京都文化博物館館長、元京都府知事からご挨拶をいただきました。続いて総会に移り、議長に西野嘉一理事が選任され、松枝しげ美副理事長から、総会の出席者数は、委任状を含め280名と会員総数の半数を超えているとの報告があり、西野議長が総会の成立を宣言、議事が開始されました。

今回の通常総会での議案は以下の6件で、各担当者から議案の説明後、全議案が賛成多数で原案通り議決、承認されました。

第1号議案：令和3年度事業報告、第2号議案：令和3年度活動決算、第3号議案：定款変更に関する件、第4号議案：役員を選任に関する件、第5号議案：令和4年度事業計画(案)、第6号議案：令和4年度活動予算(案)

都草の通常総会を歴彩館大ホールで開催するのは初めてですが、年2回開催している都草講演会、昨年12月に開催した都草15周年記念式典でも使用した、都草にとってはおなじみの場所です。収容人員が484人という広いホールのため、出席した会員には前の方の席に座っていただきましたが、それでも席が詰まることなく、ゆったりとした印象でした。(副理事長 須田 信夫)

■ 山田啓二元京都府知事が都草顧問に就任



都草顧問に就任された山田啓二氏は、2002年から4期16年にわたり京都府知事を務められました。さらに2011年から全国知事会の会長として4期7年間活躍されました。その間には文化庁の京都誘致を始め、京都縦貫自動車道等のインフラの充実、京都観光客の急増による地域活性化はもとより、若い世代の人材の育成にも努めてこられました。

現在は京都文化博物館館長、京都産業大学理事・学長特別補佐・法学部教授などの要職に就かれています。

■ 新任理事「自己紹介」

先の総会で理事就任をご承認いただきありがとうございます。仕事上でもプライベートでも京都の文化や観光に多く関わり、その素晴らしさを感じてきました。都草は設立当初から知っていましたが、今回活動内容を詳しく知り、その幅広さに驚いています。個人的には京都のお寺・神社の特別公開や美術館・博物館にも出かけますが、コロナ禍前までは夫婦で、2人とも働いていることもあり、近場のアジアに行くことが楽しみでした。夜市をはじめ人々の熱気が感じられます。早くコロナ禍以前のように制約なく旅行が楽しめるようになってほしいものです。みなさんのご指導を仰ぎながら、微力ではありますが都草の発展に努めたいと考えますので、よろしく願いいたします。(理事 保科 秀行)



■ 都草講演会「門跡寺院のひみつ ―洛北岩倉 実相院のひみつ―」



6月19日（日）京都学・歴彩館大ホールで第10回都草講演会が開催されました。参加者は224名。

講師は昨年京都市歴史資料館を退職された元研究員の宇野日出生先生にお願いいたしました。現在は小槻大社・小汐井神社宮司や同志社大学・京都女子大学・京都橘大学で教鞭を取られています。

第一部の「門跡寺院のひみつ」では、岩倉にある実相院門跡についての講演から本格的な古文書調査に携わってこられた宇野先生だからこそ知り得たお話を伺うことができました。

実相院に残された文書を調査することによって、足利将軍家の直系は15代将軍義昭の孫の代で途絶えたことが初めて明らかになったという大きな成果があったそうです。朝廷との関わりが深い門跡寺院の華やかな一面と、その華やかさを支える別の一面という光と影のお話を伺っているとあっという間に90分が経っていました。

後半の第二部では「私の京都研究」と題して、林屋辰三郎先生とのご縁から京都市史編纂所で『京都の歴史』『史料京都の歴史』を執筆、編纂に携わられた頃から、退職されるまでの約40年間の在勤中に、特に心に残っていることを挙げていただきました。後に重要文化財に指定された上賀茂神社や八瀬童子等の古文書調査。遷都1200年事業のひとつとして制作された京都アスニー所蔵の平安京模型とそれをもとにした「平安京図会」の作成。そして、行政の枠を超えた企画展の開催するなど、いずれも素晴らしいという一言しかありません。また第2弾を願ってやみません。（副理事長 松枝 しげ美）

■ 久しぶりの文化交流部会催しを終えて



34回目の文化交流部会が2年ぶりに開かれました。コロナ禍でしばらく中止が続き、待ちに待った催しです。参加人数は29名でしたが、みなさん楽しみにされていたように感じました。

5月21日（土）午前9時50分に京都市動物園集合でしたが、9時10分からチンパンジーの教育の様子を見られるということで、ほとんどの方が9時には入り口付近に集合されていました。1、2、3、4、5の順番どおりに番号を消していくという勉強でしたが、見事に間違えなくスイッチを押すチンパンジーの様子に参加者一同驚嘆し、さかんに拍手を送っていました。続いて職員の方による動物園の最新の研究の様子を伺った後自由散策となりましたが、ゾウやキリンなどを見て、みなさん子ども時代に戻ったように楽しまれました。

11時20分に出口で再集合し、歩いて10分ほどの白河院に向かいます。7代目小川治兵衛の見事な池泉回遊式のお庭を拝見し、武田五一設計の日本家屋でそのお庭を見ながらの食事を堪能。記念写真を撮って解散となりました。

曇天の午前中でしたが、幸い雨に降られることもなく、暑くも寒くもないよい日和に恵まれての久しぶりの文化交流部会の催しでした。

次は10月ころを予定していますが、今後とも京都の文化に触れながらの豊かで楽しい時間をみなさまに提供できるように、充実した企画を用意したいと思っています。会員のみなさまには、お気軽にご参加くださいますようよろしくお願いいたします。（理事 植山 政雄）